

430__令和4年度学力充実講座Ⅱ～全国学寮・学習状況調査を授業改善に活かす～

小学校

中学校

※クリックすると実施要項が見られます。

令和4年度学力充実講座Ⅱ 実施要項
～全国学力・学習状況調査を授業改善に活かす～ (小学校)

- 1 ね ら い 令和4年度全国学力・学習状況調査(国語、算数、理科)の結果から児童の学力状況を明らかにするとともに、分析・検証方法や授業改善の方策等について理解を深める。
- 2 指標との対応 観点：学習指導
- 3 受講対象 学力向上担当教諭(小・義・特支)
- 4 定 員 200名
- 5 日 時 令和4年11月4日(金) 13:00～17:00
- 6 会 場 各所属校においてオンライン受講
- 7 日 程



時 間	講義題等		講 師
13:00～13:40	講義Ⅰ	質問紙調査結果を活かした各学校での取組について	京都府教育庁指導部学校教育課 指導主事 中村 一也
13:55～15:25	講義Ⅱ	令和4年度全国学力・学習状況調査(小学校6年)に見る学力状況と授業改善	京都府総合教育センター 主任研究主事兼指導主事 芦田 有一 主任研究主事兼指導主事 溝口 直子 研究主事兼指導主事 植田 博樹
15:40～17:00	研 究 協 議	学力の充実・向上を図るための分析及び授業改善等の具体的方策	研究主事兼指導主事 岡村 佳之 研究員 堀川 泰雅

8 そ の 他

- (1) 受講方法 講座実施日の1週間前を目処に電子メールにてお知らせします。
- (2) 受講報告 受講終了後、「研修講座の受講報告」を作成し、PDF形式にて提出期限までに電子メールで提出してください。

提出期限：令和4年11月7日(月)

提出先等：研修・支援部 (ed-center-kensyu@kyoto-be.ne.jp)

件名は「講座番号_所属校名」とし、ファイル名は「講座番号_氏名_所属校名」としてください。(例：430_京都 千太_〇〇市立△△小)

- (3) 準備物 令和4年度全国学力・学習状況調査問題(国語、算数、理科)
- (4) 注意点 7月下旬に各校に送付された令和4年度全国学力・学習状況調査の結果資料により自校の分析をした上で受講してください。

9 担 当 部 研修・支援部(075-612-2952)

令和4年度学力充実講座Ⅱ 実施要項
 ～全国学力・学習状況調査を授業改善に活かす～ (中学校)

- 1 ね ら い 令和4年度全国学力・学習状況調査(国語、数学、理科)の結果から生徒の学力状況を明らかにするとともに、分析・検証方法や授業改善の方策等について理解を深める。
- 2 指標との対応 観点：学習指導
- 3 受講対象 学力向上担当教諭(中・義・特支)
- 4 定 員 250名
- 5 日 時 令和4年11月4日(金) 13:00～17:00
- 6 会 場 各所属校においてオンライン受講
- 7 日 程



時 間	講義題等		講 師
13:00～13:40	講義Ⅰ	質問紙調査結果を活かした各学校での取組について	京都府教育庁指導部学校教育課 指導主事 中村 一也
13:55～14:35	講義Ⅱ	令和4年度全国学力・学習状況調査(中学校3年)に見る学力状況と授業改善	京都府総合教育センター 所員
14:35～15:20	実 践 発 表	学力向上のための授業改善	【国語部会】 京丹波町立蒲生野中学校 教諭 湯浅 佑介 【数学部会】 木津川市立木津中学校 主幹教諭 三神 華奈子 【理科部会】 宮津市立栗田中学校 教諭 芦田 祐樹
15:30～17:00	研 究 協 議	学力の充実・向上を図るための分析及び授業改善等の具体的方策	京都府総合教育センター 所員

8 担当者一覧

国語科部会	京都府総合教育センター	主任研究主事兼指導主事	針尾 有章子
数学科部会	京都府総合教育センター	研究主事兼指導主事	田村 知史
理 科部会	京都府総合教育センター	研究主事兼指導主事	草木 康伸

9 そ の 他

- (1) 受講方法 講座実施日の1週間前を目処に電子メールにてお知らせします。
- (2) 受講報告 受講終了後、「研修講座の受講報告」を作成し、PDF形式にて提出期限までに電子メールで提出してください。

提出期限：令和4年11月7日（月）

提出先等：研修・支援部（ed-center-kensyu@kyoto-be.ne.jp）

件名は「講座番号_所属校名」とし、ファイル名は「講座番号_氏名_所属校名」としてください。（例：430_京都 千太_〇〇市立△△中）

- (3) 準備物 令和4年度全国学力・学習状況調査問題（国語、数学、理科の中で参加部会の教科）
- (4) 注意点 7月下旬に各校に送付された令和4年度全国学力・学習状況調査の結果資料により自校の分析をした上で受講してください。講義Ⅱ以降は、国語、数学、理科の教科毎に部会を行います。

10 担 当 部 研修・支援部（075-612-2952）